

メールMDR (PhishGuard)

最適なフィッシング耐性を実現する
マネージド検知対応を提供

メールセキュリティ運用を強化し、高速かつ効率的なフィッシング検出と解決を実現

保護の強化、オーバーヘッドの軽減

標的型フィッシング攻撃やビジネスメール詐欺（BEC）が増加する中、運用チームは、絶えず進化するフィッシング脅威に対応するために無理を強いられています。フィッシングに対する受動的なアプローチは、検出・応答時間が長引くことにより、リスクとコストの増大につながる事が多いのです。PhishGuardは、次のようなフィッシング防止とメールセキュリティ管理の困難で時間のかかる部分を軽減します。

- **カスタマイズされた通知と対応**：詐欺（BEC）や内部脅威に対して
- **評価と解決**：フィッシング送信に対して
- **隔離と取消**：特定された脅威に対して
- **脅威ハンティング**：メール環境下で
- **カスタム検出**：指定の指標に対して



リアルタイム監視と通知のための専用技術リソース

フィッシングに関連するアクティビティについて迅速に調査し、通知するテクニカルエキスパートとともに、運用能力を引き出し、フィッシング攻撃の一步先を行くことができます。当社の専門家が、検出と解決のメトリクスを改善すると同時に、新たなフィッシングキャンペーンや手口に関する洞察を提供します。

主なメリット



事前予防

ブランドや貸借対照表に悪影響を及ぼすおそれのある、発見が困難且つコストのかかるBEC攻撃の被害に遭うリスクを排除します。



迅速なレビューと対応

蓄積され低速で時間のかかる工程になりかねないエンドユーザーから送信されるフィッシング報告の評価と解決の負担から解放されます。



より広範な可視化と洞察

各業界で使用されているフィッシングの手口についてより深い洞察を得ることは、関連する業界がフィッシングの標的にされた場合の備えとなります。

定期的レビューとレポートによる可視性向上

PhishGuardは、メールセキュリティ運用を強化するだけでなく、専任分析者による定期的なレビューを依頼する機能を提供します。レビューには、調査結果と指標の概要を提供する分析者によるレポートが含まれます。

サービス内容

マネージドメールセキュリティの運用

- ✔ フィッシング投稿の評価と解決
- ✔ 不審な判定をすべてレビュー
- ✔ 悪意のあるメッセージの削除
- ✔ 安全なメッセージの再分類と公開

積極的詐欺防御

- ✔ BECアクティビティの監視
- ✔ キャンペーンの詳細とIOCについてのレポート
- ✔ 新しく表示される指標の作成と格納
- ✔ アクティブなBECに関する通知と対処

内部脅威の防御

- ✔ HUMINT（人的情報収集技術）関連通信の追跡
- ✔ IPを含む通信の特定
- ✔ アクティブな内部脅威を通知
- ✔ インシデントおよび重大度のレビュー／通報

マネージドメール脅威ハンティング

- ✔ 不審な判定をレビュー
- ✔ 不審である可能性の高い判定をレビュー
- ✔ 新たな判定が行われた場合の措置
- ✔ 検出強化のための送信

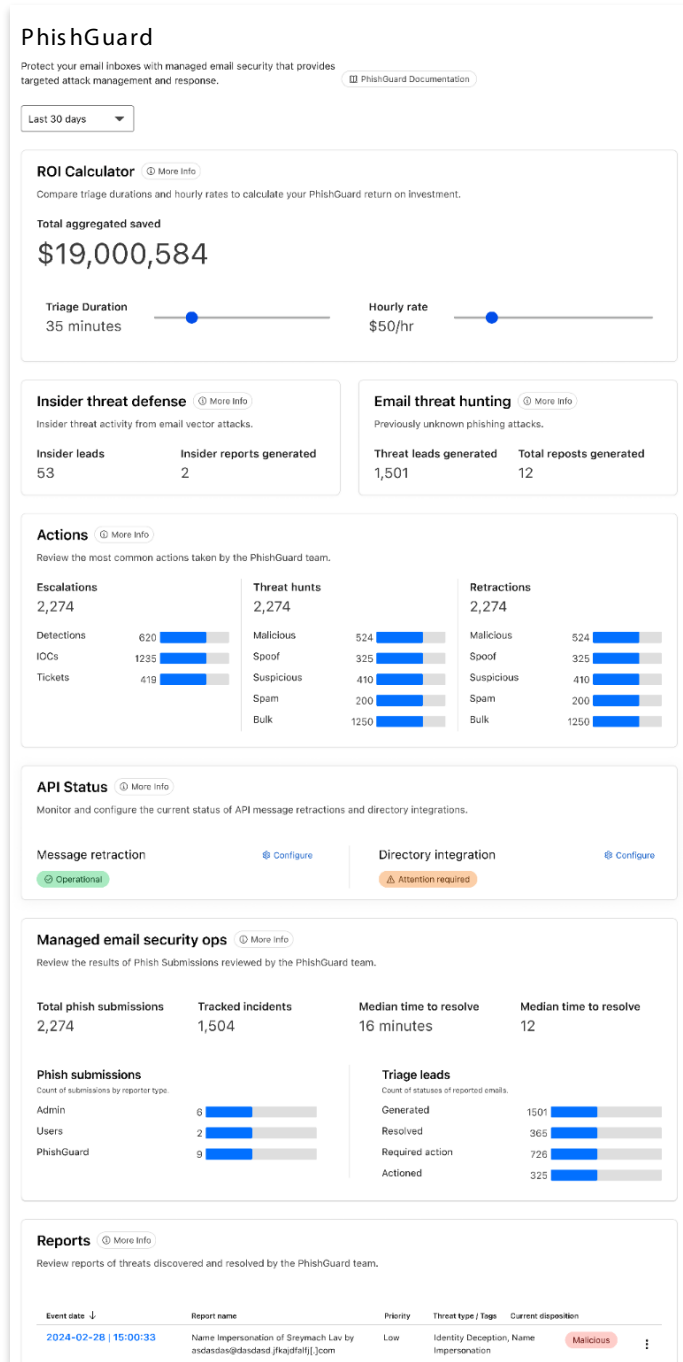


図1：ダッシュボードメトリクス